

記者発表資料（資料配布）				
発表日	担当課名	電話	発表者名（担当者）	その他配布先
9月17日（火）	病院局経営課	078-362-3301 内線3464	経営課長 市川 裕造 （経営班長 田路 修康）	阪神南、東播磨、中播磨、西播磨、丹波、淡路各県民局（県民センター）

令和5年度 兵庫県病院事業の経営状況について

1 経営状況（13病院）

令和5年度は、はりま姫路総合医療センターのフルオープン（4月）等により医業収益は増加したものの、これまで県の要請に応じ多くの病床を確保してきた（県全体の14.7%となる延べ90,445人を受け入れ）新型コロナウイルス感染症の病床確保料（空床補償）が、5類移行に伴って大幅に減少し、また、通常診療再開後は、患者の受療行動の変化等によりコロナ以前の水準まで病床利用率が回復しないなど、想定した収益が確保できなかった。

さらに、近年の物価高騰や賃金上昇などで費用は増加傾向が続いているものの、診療報酬制度の下ではその費用の増加を料金に転嫁できないことなどもあり、病院事業収支は大幅に悪化した。

これらの結果、91億円の経常損失、94億円の純損失となった。

【決算状況（13病院）】

（単位：百万円）

区分	令和4年度	令和5年度	前年度比較		
			増減	割合（%）	
経常収益	入院収益	84,598	92,746	8,148	109.6
	外来収益	38,198	39,809	1,611	104.2
	その他医業収益	2,567	2,737	170	106.6
	医業収益計	125,363	135,292	9,929	107.9
	一般会計繰入金	16,392	16,264	△128	99.2
	その他収益	19,377	11,546	△7,831	59.6
	うち病床確保料	9,692	1,140	△8,552	11.8
合計①	161,132	163,101	1,969	101.2	
経常費用	給与費	79,265	81,211	1,946	102.5
	材料費	44,012	47,885	3,873	108.8
	経費	27,130	27,641	511	101.9
	その他医業費用	11,404	13,081	1,677	114.7
	医業費用計	161,811	169,818	8,007	104.9
	その他費用	2,296	2,373	77	103.4
合計②	164,107	172,191	8,084	104.9	
経常損益③（①－②）	△2,976	△9,090	△6,114	—	
特別利益④	2,307	274	△2,033	11.9	
特別損失⑤	7,871	602	△7,269	7.6	
当期純損益⑥（③＋④－⑤）	△8,540	△9,417	△877	—	

※ 計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

（単位：百万円）

区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線		10病院計	指定管理			計	
										たつの	神戸陽子		災害	リハ中	リハ西		
R4 決算	経常損益	1,149	△144	1,356	△4,163	100	90	170	△49	△35	△955	△494	△2,976	0 (6)	0 (87)	0 (△58)	△2,976 (35)
	純損益	1,159	△131	1,370	△7,477	△2,190	87	175	△55	△30	△955	△494	△8,540	0 (6)	0 (87)	0 (△58)	△8,540 (35)
R5 決算	経常損益	△1,315	△1,028	△1,134	△2,407	△870	△454	△179	△87	△279	△919	△418	△9,090	0 (△25)	0 (41)	0 (△17)	△9,090 (△1)
	純損益	△1,537	△827	△1,190	△2,453	△1,008	△486	△202	△93	△284	△919	△418	△9,417	0 (△25)	0 (41)	0 (△17)	△9,417 (△1)

※1 () 書きは指定管理病院の決算を記載

※2 計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

【業務量(13病院)】

区 分		単 位	令和4年度	令和5年度	前年度比較
入院	病床数(年度末)	床	4,290	4,394	104
	病床利用率	%	74.8	78.6	3.8
	延患者数	人	1,164,615	1,263,463	98,848
	1日当たり患者数	人/日	3,190	3,452	262
	平均在院日数	日	12.8	12.8	0.0
	入院単価	円	77,967	78,538	571
外来	延患者数	人	1,710,433	1,744,458	34,025
	1日当たり患者数	人/日	7,037	7,179	142
	外来単価	円	23,154	23,609	455

2 資本的収支の決算状況

(単位：百万円)

区 分	令和4年度	令和5年度	前年増減	主な増減理由	
収入	企業債	12,343	10,731	△ 1,612	はりま姫路総合医療センター整備完了に伴う減
	負担金	7,240	6,990	△ 250	一般会計負担金の減
	その他収入	564	1,040	476	西宮新病院建築工事開始に伴う補助金の増
	合 計	20,148	18,761	△ 1,387	
支出	建設改良費	13,313	12,478	△ 835	はりま姫路総合医療センター整備事業△6,367(6,549→182) 西宮総合医療センター(仮称)整備事業+5,818(651→6,469) がんセンター建替整備事業+334(37→371) 医療機器整備事業△465(5,543→5,078)
	企業債償還金	10,166	11,546	1,380	はりま姫路総合医療センター医療機器償還開始に伴う増
	その他支出	136	115	△ 21	医師修学資金貸付金等の実績減
	合 計	23,616	24,139	523	
差 引	△ 3,468	△ 5,377	△ 1,909		

※ 計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

3 累積欠損金、内部留保資金等

令和5年度末の累積欠損金は、令和5年度の当期純損益(税抜き)が94億円の赤字となったことから496億円となり、204億円の債務超過となった。

また、内部留保資金の残高は、69億円減少し、令和5年度末で33億円となった。

(単位：百万円)

区 分	令和4年度	令和5年度
当期純損益	△ 8,552	△ 9,417
累積欠損金	△ 40,154	△ 49,571
資本合計	△ 11,216	△ 20,356
内部留保資金残高	10,293	3,348

※ 金額は損益計算書ベース(税抜き)で作成

4 令和6年度の取組について

令和6年度も給与改定による給与費の増や物価高騰の継続等、厳しい経営環境が見込まれるが、これまでの収益確保及び費用抑制による収支改善に向けた取組みに加え、本年5月に設置した「県立病院経営対策委員会」において病院経営、企業経営、運営実務の専門家から助言・提言を受けながら、収支改善方策の検討等を行い、各病院と病院局が一体となった経営改善に取り組むことで、持続可能な経営の確保に努める。

同時に、全国的に自治体病院の経営環境が大幅に悪化していることを踏まえ、構造的問題の解決に向け、率先して国への要望活動等も行っていく。